

農林水産部

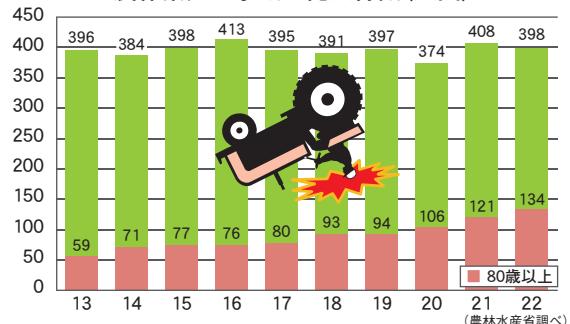
農作業死亡事故を防止しましよう

Point

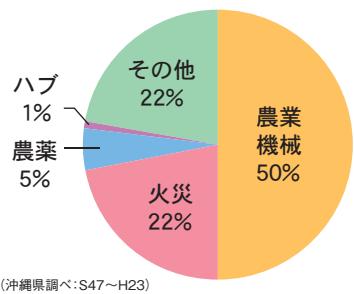
11月は農作業安全運動月間です！

全国における農作業死亡事故は毎年約400件発生しており、交通事故による死者数が年々減少傾向にある中、直近10年間で見ても昭和46年以降変わらない水準で推移している状況です。このうち、高齢者の占める割合は年々増加し、平成22年における80歳以上の死者数は134人と全体の約3分の1を占めています（図1）。

（図1）農作業死亡事故の発生件数（全国）



（図2）沖縄県における農作業死亡事故の内訳



沖縄県においても毎年約2件の農作業死亡事故が発生しており、今年も既に3件の死亡事故が発生しています（9月末現在）。沖縄県における農作業死亡事故の内訳では、農業機械によるものが全体の半分を占めており、耕耘機の後退時における巻き込まれやトラクター転倒による下敷きなどが多く見られます（図2）。

「ターゲット普及促進事業」などの様々な対策を講じているところです。

このうち、「安全フレーム装着トラクター普及促進事業」はトラクター転倒時に運転者を守る安全フレームを装着したトラクターの普及を促進するため、安全フレーム未装着のトラクターに更新する場合に助成を行うもので、沖縄総合事務局農林水産部生産振興課で申請を受け付けておりますので、是非御活用ください（本年度の受付は平成24年12月28日まで）。

高い安全意識を持つて作業を行うことが重要です。農業機械の管理・利用を適切に行い、安全な農作業に必要な知識・技術を習得して農作業死亡事故を防止しましょう。



安全フレーム装着トラクター普及促進事業の流れ



こうした農作業事故を防止するため、農林水産省においては、事故の詳細な調査分析等を進めるとともに、「地域活動マニュアル」の作成、「農作業安全ネットワークの構築」「安全な農業機械の開発」「安全フレーム装着トラクター

の普及促進事業」などを実施しています。また、沖縄県でも、毎年11月を「農作業安全運動月間」に定め、広報誌やラジオ、ホームページによる農作業安全の啓発活動を行っています。

農作業の事故防止には、一人一人が